※令和４年度以降入学生用

学校番号	3021

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新編言語文化」（東京書籍）						
副教材等	新改訂「最新国語便覧」　（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では、上代から近現代までの古典と現代文を扱います。それぞれの文章に興味をもち楽しんで接し、豊かな感性と情緒を養うことができるよう、積極的に授業に参加してください。
・文章を的確に読みとる力を身に付ける授業です。分からない言葉の意味や漢字が出て来た場合には、辞書などを使用し自分で調べる習慣をつけてください。
・国語について興味を持って参加してください。すすんで読書をしたり、ニュースを見たり、新聞を読んだりして世の中の出来事に興味を持ち、視野を広くもつよう心掛けてください。
・日本漢字能力検定７級から２級までの漢字を学習します。小テストも実施しますので、日ごろから継続して学習に取り組んでください。
・提出物の期限は必ず守ってください。提出遅延のないように、計画的に課題をこなしてください。。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することをめざす。
（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、その特質を理解し適切に使用するとともに、我が国の言語文化にたいする理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、生涯にわたる社会生活の中における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書にしたしみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	随筆の読み方を学ぶ。 引用歌や体験談に注意しながら、日本独特の桜に対する感性についての理解を深める。 ［教材］ 「さくらさくらさくら」	a：随筆という文章の構成を理解するとともに、使いこなせる言葉の数を増やし、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：作品や文章に表現されているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を理解することができる。 c：引用歌や体験談に注意しながら、日本独特の桜に対する感性について理解を深めながら、筆者の桜にたいする思いを理解しようとしている。	定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	行動の観察 ワークシート
	表現に注意しながら登場人物の心情を読み取り、小説に親しむ。 ［教材］ 「とんかつ」	a：文章の構成や言葉の使い方を理解し、使いこなせる言葉の数を増やし、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確にとらえ、登場人物の心情を理解することができる。 c：内容に興味を持ち、登場人物の心情や文章の構成などから、作品の主題を読み取ろうとしている。	定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	行動の観察 ワークシート
	それぞれの文章のリズムや調子の違いを感じ取る。 ［教材］ 「古文に親しむ」	a：現代文と古文の違いについて、言葉の特徴やリズム、歴史的仮名遣いなどから理解し、感じ取ることができる。 b[読]：文章の種類をふまえて、古文特有の表現を理解し、内容を的確に理解することができる。 c：古文を自らすすんで音読し、古文独特のリズムや仮名遣い、表現に慣れ親しもうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	行動の観察
	歴史的仮名遣いについて理解し、説話文のおもしろさを感じ取る。 ［教材］ 「児のそら寝」 ・古文学習のしるべ1 「古文の言葉と仮名遣い」 ・古文学習のしるべ2 「古語をしらべるために」	a：現代文と古文の違いについて、言葉の特徴やリズム、歴史的仮名遣いなどから理解し、説話文の特徴を理解することができる。 b[読]：文章の種類をふまえて、古文特有の表現を理解し、内容を的確に理解するとともに、説話文のおもしろさを読み取ることができる。 c：本文を自らすすんで音読し、歴史的仮名遣いを読みこなそうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	行動の観察 ワークシート 定期考査 小テスト
	随筆に触れ、作者の考えや自分との共通点を探り、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 ［教材］ 『枕草子』 「うつくしきもの」	a：古文の文法を正確に理解し、本文の内容を的確に理解することができる。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古文特有の表現を理解し、内容を的確に理解するとともに、随筆文の特徴を理解することができる。 c：本文の内容と現代社会や自分との共通点を探り、ものの見方や感じ方、考え方を深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	行動の観察 ワークシート
二学期	短歌や俳句に親しみ、深く読み味わう力を身に付ける。	a：短歌と俳句の定型や、季語や切れ字などの基礎知識を理解している。	ワークシート	ワークシート	行動の観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	［教材］ 「柳あをめる【短歌】」 短歌の読み方 「雪の深さを【俳句】」 俳句の読み方	b[読]：作品に顕れている作者の意図やものの見方や感じ方を理解し、内容を解釈している。 c：短歌や俳句の特徴を自ら進んで理解し、作品の内容や作者の意図について積極的に解釈しようとしている。	定期考査	定期考査	
	詩歌の特徴的な表現の技法を知り、作品に込められた作者の思いや意図を感じ取り、自らも表現する。 ［教材］ 「折々のうた」 「短歌を作る」	a：短歌の技法の基礎知識を理解し、それを活用することができる。 b[書]：自分の体験や思いが伝わるように構成を考え、短歌の技法を使用しながら、表現することができる。 c：短歌の技法を理解し、自分の体験や思いが他者に伝わるように、表現を工夫したり、技法を使用したりして作品を完成させようとしている。	ワークシート 定期考査	行動の観察 ワークシート	行動の観察 ワークシート
	作品の内容から、主題を読み取り、小説を味わう。 ［教材］ 「羅生門」 ・言語活動「元になった古典作品と読み比べてみよう」	a：文章の構成や言葉の使い方を理解し、使いこなせる言葉の数を増やし、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて理解するとともに、そこから見える作品の主題を読み取る。 c：内容に興味を持ち、登場人物の心情や文章の構成などから、作品の主題を読み取ろうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	行動の観察 ワークシート
	古文の特徴を理解し、物語に描かれている内容を的確に理解する。 ［教材］ 『伊勢物語』 「芥川」 ・言語活動「和歌を自分の言葉で書き換える」 ・古文の窓「恋愛と結婚」	a：古文の基礎知識を理解するとともに、歌物語の特徴を捉えることができる。 b[読]：文章の種類をふまえて、古文特有の表現を理解し、内容を的確に解釈するとともに、当時の文化や習慣について知識を深め、読解に役立てることができる。 c：歌物語の特徴や表現の仕方を自らすすんで理解しようとし、内容を的確に解釈しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	行動の観察 ワークシート
	主人公の心情の変化を読み取り、細かい表現に注意して話の展開を捉える。 ［教材］ 「デューク」	a：文章の構成や言葉の使い方を理解し、使いこなせる言葉の数を増やし、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて理解するとともに、文中の表現に注意しながら、主人公の心情の変化を的確に読み取ることができる。 c：内容に興味を持ち、登場人物の心情や文章の構成を的確に理解しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	行動の観察 ワークシート 定期考査
三学期	漢文の特色を知り、故事成語を読み、漢文の世界に親しむ。 ［教材］ 「訓読の基本」 「故事成語―三編」	a：漢文の基礎知識や訓読のきまりを理解するとともに、漢文のリズムや特徴を捉えることができる。 b[読]：訓読のきまりを正確に理解したうえで、文章の内容について解釈し、ものの見方や考え方を深めることができる。 c：自ら進んで訓読のきまりを理解しようとし、文章の内容について、的確に解釈しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト	行動の観察 ワークシート
	漢詩の表現を理解し、漢詩にうたわれた情景や作者の心情を読み取る。	a：漢文の基礎知識や訓読のきまりを理解するとともに、漢詩の詩形や押韻などについて理解することができる。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	行動の観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	［教材］ 「絶句と律詩―七首」 ・言語活動「訳詩を書く」	b[書]：漢詩の基礎知識を正確に理解したうえで、詩の内容が伝わるように、表現を工夫しながら訳詩を作成することができる。 c：自ら進んで漢詩の特徴や基礎知識を理解しようとし、学んだことを生かして、的確に表現しようとしている。	小テスト		

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　10　）時間

・読むこと　…　（　60　）時間